

## 雜俳における漢字使用状況

### — 『冠附四季の花』の場合(一) —

西 讓 二

『冠附四季の花』における漢字使用状況を報告する。既発表の『青木賊』での調査（註）にならい、また、その結果と考へ合わせることできる資料としてまとめることが目的である。また、同時に、この方法による漢字使用状況調査の結果（註）に加え得る資料となるものである。

—  
『冠附四季の花』について概略を述べる。『俳諧大辞典』（註）においては、次のように解説されている。

冠附四季の花（註） 雑俳撰集。横小一。偃月編。嘉永四年（註）一八八月刊。大坂、藤屋善七ら板。和田麻貫・民村羅

山ら十六人の浪花冠付点者の高点句集で、各点者について住所・庵号を掲げ、随所に挿画を付す。江戸時代末期の句風を知るのによい。〔宮田〕

また、その内容をうかがい知るのに役立て得ると思われるので、その凡例を架蔵本によって左に掲げる。すなわち、

凡例

- 一 浪花にて冠附点者達の住所庵号等委しく記ス
- 一 句は皆々當時流行高点を請てしるす但し前後次第甲乙なくいづれも秀吟なり
- 一 児女子を慰めんためいさゝか画面を加へる
- 一 画上にしるしたるも集中の吟と同意なり唯壹枚の圖にて数句しるせらるゝをもつて爰に拾ふ
- 一 点者家此余数軒あり追々編を重ねて一覧に備ふ

これによって、どのような趣旨でまとめられたものかについてほぼ知り得る。

次に、十六人の評者による撰句を集めたものという点についてであるが、内容をうかがい知る上で参考となると思われるので、本文中に記されている通り、掲出順に評者名・庵号等を記す。なお、各々の評者による撰句の掲げられている場所をもあわせて示す。

井池筋久宝寺町	顕光亭	和田麻貫	1才〜3ウ6
道頓堀大和橋北つめ	浅芽庵	民村羅山	3ウ10〜7才
内久寶寺町	松諷亭	桂琴史	7ウ〜9ウ
瓦町せんだんの木	管弦齋	脇田素閣	10才〜12ウ
博労町箒屋町	其綾齋	萩尾兔隆	13才〜16ウ
本町井池筋	有隣亭	樹下梅岡	17才〜19ウ
新やしき	南陽亭	大村菊秀	20才〜22ウ6
順慶町一丁目	南向亭	浅雄梅暁	22ウ10〜25ウ
下大和橋北つめ	巖六坊	大溝巴勢	26才〜28才
天満西樽屋町中ほと	四徳庵	朝田梅洲	28ウ〜30才
竹屋町箒屋町	静風菴	山田花兄	31ウ〜34ウ
東堀久宝寺町	萩の家	木下露玉	35才〜37ウ4
下大和橋北つめ	鶯笠庵	民村羅紅	37ウ10〜40ウ
かぢや町八まん筋	一滴菴	大平芦翠	41才〜43ウ

天満九丁目

栖霞軒

松井如柳

44オ〜47オ

一名安穴

本町谷町西へ入

無性菴

和田道楽

47ウ〜49ウ

なお、本文中に挿画があるが、これは絵がそれにあう句とともに掲げられるというかたちをとっており、その際、掲げられる句は散らし書きになっている。従って、これら挿画部分の占めるスペースのため、全体の句数が少なくなっている。挿画は十一ヶ所あるが、それらの場所をそこに掲げられる句の評者名とともに示すと次のようになる（評者名を（ ）に入れて示す）。

4ウ（羅山） 5オ（琴史） 13ウ（麻貫） 14オ（如柳・素閣・花兄） 19オ（梅洲・菊秀） 25ウ（兔隆・梅  
曉・道楽） 32ウ（花兄） 33オ（素閣・露玉・羅紅・如柳） 40ウ（琴史・菊秀） 44ウ（芹翠・梅岡・兔隆）  
45オ（巴勢）

次に全体の構成を示す。まず前表紙のあとに初丁として、その表に題と絵と編者名を記し、裏に凡例が記されている。そのあとに、本文が、丁付けでいうと一丁〜四八丁および終丁とされる部分を占め、刊記は後表紙に貼り付けられるかたちである。従って、全体で五十丁。うち、初丁に題・凡例等を記し、本文は挿画も含めて四九丁である。また、半丁あたり句のみの場合で十二行記されている。

今回の調査において披見したテキストは、架蔵本と、『國書總目録』および『古典籍綜合目録』に示されているものうちの七種との、あわせて八種である。すなわち、

- ① 架蔵本
- ② 天理図書館綿屋文庫所蔵本 (二四七一二)
- ③ 天理図書館綿屋文庫所蔵本 (二四七一三)
- ④ 天理図書館綿屋文庫所蔵本 (二四七一四)
- ⑤ 天理図書館綿屋文庫所蔵本 (二四七一七)
- ⑥ 関西大学図書館所蔵本
- ⑦ 京都大学図書館所蔵本
- ⑧ 大阪女子大学図書館所蔵本

以上の八種について、主として用いる資料を決めるにあたり事前に内容を比較検討した。その結果、凡例中の「集中の吟と同意なり」という部分の「同意」を「同位」とするものがあり、また、刊記の内容とを考え合わせるにより、次の四類になった。

- I 類 ①②⑤⑧

II類 ③

III類 ⑥ ⑦

IV類 ④

内容における相違は上述のように凡例の部分と刊記の部分だけであり、本文については相違はみられない。このため、刷りの具合いを基準として、①の架蔵本を直接の調査対象とした。

三

本文において疑問のある箇所について以下に記す。

本文の漢字の部分には、すべてではないが、振り仮名がつけられている。この振り仮名はそのほとんどが片仮名によるが、いくつか平仮名のものが見られる。振り仮名が平仮名であるものは以下の四箇所である。

事 (1オ12 2オ12) 黒一目 (32ウ) 知らん (46オ12)

次に、振り仮名そのものに疑問のあるもの、および振り仮名と送り仮名に重複の見られるものを以下に示す。

箒 (1オ10) 晴るゝ (4ウ) 旦那さん (6オ2) 喰らへぬく (8ウ11) 八百を言や (20ウ12) 牡丹餅  
(28オ8) 一軒 (31オ6) 逃られリヤ (35ウ4) 酔て (42オ6) 持チなされ (48ウ7) 「キ」の上に突き出

た部分のないかたち) 爰へ(49オ4)

振り仮名において、ア行のオとワ行のヲの部分については主に「ヲ」の仮名を用いているが、ア行の「オ」の仮名を用いてあるものが九例見られる。すなわち、

奥(1オ9) 奥の(45ウ2) 納め(2オ11) 納(23ウ1) 追(12ウ11) 追焚(15オ4) 遅おます  
(18ウ1) 下り(21ウ10) 奢り(46オ11)

これらのものは、仮名づかいについて記述するときに触れる予定であるが、ここに「オ」を用いてあるものをすべて掲げた。

本文中の漢字について疑問のあるものとしては次に掲げるもの一例である。

そつと覗キ(3オ1)

左側のへんの部分を「目」と考えるのならば二画目にあたるところの書き出しに、上からの続きを示す筆づかいが見られ、一画目として書かれていたようにうかがえる。従って、「司」とするつもりで「目」とされた可能性のあるものと考えられる。「覗」という字が「覗」とは別にあることを考慮した上で、本調査においては、「覗」としてシの音で処

理することとしたが、索引では「睨」のかたちで示した。

#### 四

この「冠附四季の花」で調査対象とした部分に用いられている漢字字種は八四八字で、「青木賊」に比べてかなり少なくなっているが、これは調査対象の分量の差と考えられる。また、総漢字数もやはり「青木賊」に比べかなり少ないもの三九八字となっている。この総漢字数のうち振り仮名を持つものは一七五三字（約七三％）で、振り仮名を持たないものは六四五字（約二七％）となっており、他の調査でのものに比べ、振り仮名を持たないものがやや多くなっている。以下、紙幅の関係から、漢字の索引はア〜ソまでを示し（挿画のある丁の例については行数は示していない）、残りの部分は頻度やその他今回説明をしなかった点とともに次回にまわすこととする。

#### 注

1〇「雑俳における漢字使用状況——『青木賊』の場合——」（『成城文藝』第一一二号、昭和六十年十月）

〇「雑俳における漢字使用状況——『青木賊』の場合（二）——」（『信州豊南女子短期大学紀要』第八号、平成三年三月）

〇「雑俳における漢字使用状況——『青木賊』の場合（三）——」（『信州豊南女子短期大学紀要』第九号、平成四年三月）

2〇山田俊雄氏「雑俳書の表記を資料として考へられることの一例」（『国語学』第一二三集、昭和五五年二月）

〇山田俊雄氏「近世の常用漢字について」（『言語生活』三七八号、昭和五八年六月）

○山田俊雄氏「近世常用の漢字——雜俳『新木賊』の用字について——」〔成城文藝〕第一〇五号、昭和五八年一月

○山田俊雄氏「近世常用の漢字——『冠附かざし草』の用字——」〔成城國文學論集〕第十六輯、昭和五九年八月

○山田俊雄氏「近世常用の漢字（三）——『冠附かゞみ磨』の用字について——」〔成城國文學論集〕第十七輯、昭和六〇年八月

○山田俊雄氏「近世常用の漢字（四）——『冠附若とくさ』の用字について——」〔成城國文學論集〕第十八輯、昭和六二年二月

○エッコ・オバタ・ライマン、山田俊雄両氏「近世常用の漢字——『冠附机之塵』の用字について——」〔成城文藝〕第二二二号、昭和六三年一月

○山田俊雄氏「近世常用の漢字——『西鶴置土産』の場合——」〔成城國文學論集〕第二十輯、平成二年三月

○山田俊雄氏「近代の常用漢字（一）——『明治冠附集』の場合——」〔成城國文學論集〕第二十一輯、平成三年八月

3 『俳諧大辞典』（伊地知鐵男他編、明治書院、昭和五六年第二四版）

4 『補訂版國書總目録』第二卷（岩波書店、一九八九年一月）

5 『古典籍総合目録——國書総目録統編』第一卷（国文学研究資料館編、岩波書店、一九九〇年二月）

6 「同意」とあるのは①②⑤⑧の四本で、「同位」とあるのは③④⑥⑦の四本である。文脈上「同位」の方が通ると考えられ、字のつながり具合いからず、「同意」を「同位」に訂したものと思われる。

7 刊記について記す。①②③⑤⑧は「嘉永四辛亥年／八月中旬發行／書肆／江戸日本橋老丁目／須原屋茂兵衛／同芝

明神前／和久屋吉兵衛／京寺町綾小路下ル町／近江屋佐太郎／大坂心齋橋北久太郎町／塩屋忠兵衛／同心齋橋安土町北へ入／藤屋禹三郎／同高麗橋壹丁目／藤屋善七様」である。このうち①は刊記が破れており「永四辛亥年」「中句發行」と「藤屋善七」の「藤」一字とが残るのみであるが、同じものとして処理した。④は「發行／書林／江戸日本橋通壹丁目／須原屋茂兵衛／同浅草茅町二丁目／須原屋伊八／同日本橋通二丁目／山城屋佐兵衛／同芝神明前／岡田屋嘉七／京都三條通升屋町／出雲寺文治郎／肥前佐賀白山町／紙屋惣右衛門／大坂南久寶寺町／榎並屋小兵衛／同心齋橋備後町／近江屋平助／同心齋橋通南久寶寺町／伊丹屋善兵衛」である。⑥⑦は広告が付けられており、ともに「冠附新木賊全一冊／同後篇同／同かさし草同／同化粧紙同／南久寶寺町心齋橋通北へ入／書林伊丹屋善兵衛」である。

なお、前表紙の外題は、確認できるものについて示せば、①②④⑦は「嘉永／秀吟／四季の花全」とあり、⑥は「四季の花全」とある。⑧のものは①②④⑦での角書きの部分を切り落としたものと思われる。

8 鈴木勝忠氏『未刊雜俳資料十八期』（昭和三七年一月）に収録されているものはI類にあたる。

9 I類の中で架蔵本のみ、40ウの「月さやか」の「さ」が判読できる点など。

10 版の欠けについては詳しく触れることはしないこととする。

#### 〔付記〕

本報告をなすにあたり、資料複写を心よくお許し下さいました諸図書館に対して厚くお礼を申し上げます。

アイ

埃 ほこり

愛 アイ

—アイ—

可—らしい 39オ9

—アイ—  
—に 4オ12  
—を 23オ6

アク

悪 わるい

わる—

ワル  
—ひ 16オ9 34オ5  
ワル<sup>ク</sup>  
—嗅ひ 18オ11

アン

安 アン—

やすい

—やすい

ア<sup>ン</sup>ト  
—堵 28オ3

ヤス  
—か った 35オ8  
—ひ 13ウ  
ヤス

案 アン—

—アン

アンズ

庵 いほ

暗 くら

ア<sup>ン</sup>  
—に 23オ7

ア<sup>ン</sup>  
—じて 23ウ2

イ<sup>ホ</sup>  
—40ウ

クラ  
—ひ 42オ12  
—ふに 24オ6

鞍 くら—

闇 やみ

餡 アン—

イ

以 —

衣 —ぎぬ

—じころも

移 うつる

違 —イ

ちがう

イク

育 そだち

イチ

—イチ

イチ—

クラマ  
—馬 34ウ11

ヤミ  
—23ウ10

ア<sup>ン</sup>コロ  
—轉を 28オ8

イゼン  
—前 46ウ1

カタキス  
肩— 34ウ12

ハコロモ  
羽— 47オ6

ウツ  
—り 20ウ8  
—つゝた 29オ4

サウイ  
相— 23オ7

チガ  
—ふた 8ウ6  
—ふ 41ウ11  
チガ

ソダ  
—ち 47オ11

—デ  
—6ウ3 36ウ9

—二を 8オ7 34オ7  
—夜 10ウ6  
—座 13オ10

イナハ 羽 15オ10 | 日 22ウ2 | 面に 32オ9 | イナハ 目で

32ウ | 文菓子 34オ2 | 二膳 37オ8 | 一番に 39

オ8 | 一番 44オ9

イツー | 閑張 2オ6 | 心不乱 9オ3 | はい 18ウ8

方 21ウ11 | 方 41ウ7 | 寸 48ウ3

ひとつ | つ 38ウ9

|| | 御一人 15ウ2

巻 | イチー | 一枚 25オ2

イツー | 本 11ウ2 | 軒 31オ6

イン

匂 | にほひ | ひ 11ウ5 | 34ウ5

引 | ひく | イて 8ウ5 | ちんば 38ウ5 | 41ウ9 | きや 37オ4

ひき | ぬいて 31オ4

ひっ | はり 30ウ3 | く 39オ5

のつ 47オ9

咽 | のど | ノド 35ウ2

印 | 極 45ウ10

飲 のめる | 14オ

隠 イン | 居さん 17ウ7

雪 1オ7

ウ

右 みぎ | 22オ6

羽 は | 衣 47オ6

宇 ウ | 都の山路 12オ10

雨 あめ | 34オ12

ウン

雲 くも | 7オ8 | 38オ6 | 36ウ12

エイ

洩 もれる | 32オ12

影 かげ | 17ウ3

衛 エ | 士 16オ1

一エ 八兵—34オ6 49オ5

エツ

悦 よろこばす  
—<sup>ヨロコ</sup>ン ばす43オ6

エン

垣 かま  
—21オ10

延 のぶる  
—<sup>ノブ</sup>れは48ウ3

爰 ここ  
—<sup>コ</sup>ら2オ4  
—<sup>コ</sup>2オ10 14ウ10 35ウ12 36ウ12  
—<sup>コ</sup>49オ4

塩 しほ  
—<sup>シホ</sup>30オ12 —<sup>シホ</sup>27オ4 38ウ8

しほ—<sup>シホ</sup>の目34ウ5

—<sup>ウスシホ</sup>じほ 薄—41ウ6

煙 けぶり  
—<sup>ケブ</sup>9ウ4

圓 —<sup>ホウエン</sup>管39オ12

椽 —<sup>ホウエン</sup>方—39オ1

猿 —<sup>ゲ</sup>21ウ3

—<sup>ゲ</sup>藝なし—<sup>ザル</sup>18ウ9

オウ

押 おす  
—<sup>ヲ</sup>して12ウ5

—<sup>ヲシイレ</sup>入48ウ4

往 <sup>ワウ</sup>—<sup>ワウセウ</sup>生14オ

—<sup>イ</sup>たら23オ12 —<sup>イ</sup>コ46オ10

翁 おきな  
—<sup>ヲネナ</sup>10ウ10

奥 おく  
—<sup>オク</sup>1オ9 45ウ2

横 よこ—<sup>ヨコフネ</sup>植36オ2

鴨 —<sup>カモ</sup>チン—<sup>フスマ</sup>で16オ5

襖 ふすま  
—<sup>フスマ</sup>32オ12

櫻 さくら  
—<sup>サクラ</sup>20ウ2

オク

屋 —<sup>ヤ</sup>米—<sup>ヤドヤ</sup>21オ4 酒—<sup>カウキ</sup>21オ4 鯉—<sup>カウキ</sup>23ウ12 茶—<sup>オヤヤ</sup>42ウ12

—<sup>ヤ</sup>宿—<sup>ヤドヤ</sup>めら2オ8

オン

音 おと—<sup>オト</sup>づれ27ウ2

—おと  
松吹—20ウ7

ね  
—7ウ12

恩 オン  
—9ウ2

下—カ  
廊—23オ10

おりる  
—9ウ10 24オ6  
—り21ウ10  
—りると33ウ2

おろす  
—し15ウ3  
—ロし34オ12

くだす  
被—1オ11 2ウ5

さがる  
—ツテ2オ1  
—ツて35ウ11

した  
—13オ10 26オ12

爪  
—クワ  
西—23オ8

可—カ  
—愛らしい39オ9

仮—カ  
—名28オ12 30オ2

何—なに  
—か33オ—が46オ2  
—ガイナ26ウ4

なに—  
—氣なふ19ウ8  
—角なし37ウ2  
—より39ウ7

なん  
—ぞ1ウ8 9ウ12  
—に2ウ12  
—の16オ4  
—のそ

の22オ7  
—じや34オ6

なん—  
—ンぼ17オ10  
—ンぼ18オ6

—なん—  
三十—ぼ48ウ6

—  
—処7ウ11  
—所18ウ5 41ウ6  
—時42オ2  
—處48オ12 49ウ4

花—クワ  
—はな  
—はな  
—方10オ9  
—緒19ウ2 48オ9  
—らるゝ12ウ8

はな—  
—はな  
—方10オ9  
—緒19ウ2 48オ9  
—らるゝ12ウ8

—はな—  
—方10オ9  
—緒19ウ2 48オ9  
—らるゝ12ウ8  
—香23オ6  
—香26ウ6

呵—  
—はな—  
—方10オ9  
—緒19ウ2 48オ9  
—らるゝ12ウ8

迦—ガ  
—ガ  
—方10オ9  
—緒19ウ2 48オ9  
—らるゝ12ウ8

荷—に  
—ガ  
—方10オ9  
—緒19ウ2 48オ9  
—らるゝ12ウ8

華—クワ  
—ケ  
—法—宗12オ1

菓—クワ  
—ケ  
—法—宗12オ1

過—  
—ケ  
—法—宗12オ1

—  
—ケ  
—法—宗12オ1

嫁—よめ  
—ケ  
—法—宗12オ1

榎—えのき  
—ケ  
—法—宗12オ1

歌—うた  
—ケ  
—法—宗12オ1

—37オ2

駕 かこ  
— 17オ10

瓦 グワ  
— 礫<sup>グワレキ</sup>9オ4

芽 め  
木<sup>ホ</sup>の — 13ウ 40オ6

臥 Ⅱ  
草<sup>クワレ</sup> — ながら12ウ8  
草<sup>クワレ</sup> — れる22オ10

カイ

廻 まはる  
マハ — りて18オ1

まはり  
— り2ウ8

皆 みな  
ミナ — 16ウ4 — 41ウ8

海 うみ  
— 21オ8 25オ10 — 33ウ12 39ウ8

蓬菜<sup>ホウクワエビ</sup> — 老39ウ8

晦 Ⅱ  
— 日33ウ3

解 とける  
トケ — ぬ21ウ6

とおらぬ12オ2  
— 兼<sup>トケカネ</sup>る38ウ6

放<sup>ホトケ</sup> — せぬ35ウ10

階 — カイ  
二 — 36オ12

繪 エ  
— 6ウ8 11オ11

外 そと  
— 21オ10 40オ8

ほか  
— 27オ10 — カ<sup>ホ</sup>39ウ12 — 18ウ7<sup>ホカ</sup>

咳 せき  
— ばらひ32オ3

街 ちまた  
チマチ — 7ウ8

蓋 ふた  
フタ — 33オ

カク

角 カク  
カクゴ — 字28オ12

格 カク  
カクバツ — 別15ウ7 25オ11

畫 エ  
— 20ウ8 29オ5 31オ5

覺 さめる  
サメ — ても21オ5

鶴 つる  
ツル — 21ウ10

鶴 つる  
ツル — 15オ2

カツ

括 くり 38オ12

割 わり ぶり ぶしん 42オ7

筈 はず ハツ 6ウ4 28オ10

滑 なめり ナメ 川 8ウ8

ガツ

月 1グワツ 四 29ウ1

1ゲツ ジツケツ 日 19オ

つき 23ウ10 33ウ3 40ウ

カン

干 ぼし 梅 49ウ3

甘 あまい 7マ ひのに 30オ12

巻 まく マイ 24ウ2

1まき コフ マキ 昆布 42オ8

寒 カン 紅梅 9ウ7

間 1ケン セケン 世 18ウ8

あひだ 15オ6

ま 21オ12 38オ12

晴 11ウ2 板の 13オ8

閑 カン 静な 10ウ12

1カン 1張 2オ6

長 8オ3 長 18オ3

管 煙 39オ12

場 45ウ6

館 1クワン 歸 44ウ

勸 クワン 化 49ウ4

關 せき 所 31ウ12

鑑 かがみ 8ウ10

ガン

厂 かり カリ 24オ8

丸 まるめる マル め 13オ10

まるこい 1こい 47オ1

まる 1木橋 24ウ5

1まる 大 25ウ

まるで  
—で5ウ1

岸  
まし  
—30ウ5

岩  
—いは  
黒—18オ12

眼  
まなこ  
—43ウ1

め  
—16オ6 20オ10 32ウ

め  
—<sup>メ</sup>借り9ウ10 —<sup>メ</sup>鼻4ウ2

顔  
かほ  
—9ウ3 11ウ12 16オ3 16オ12 23オ8 42オ9 43ウ8

41ウ2

願  
グワン  
—11オ12 29オ3

念—6ウ9 24ウ11

ねがひ  
—<sup>ネ</sup>ひ47オ5

其  
その

奇  
—<sup>キ</sup>麗ナ1ウ2 —<sup>キ</sup>麗な11オ2 —<sup>キ</sup>妙25オ5

氣  
—<sup>キ</sup>ちがひ5ウ1 —<sup>キ</sup>随9オ2 —<sup>キ</sup>味34オ5 —<sup>キ</sup>遣

—<sup>キ</sup>ひ40オ5

—<sup>キ</sup>人—15オ3 お—<sup>キ</sup>に32オ8

—<sup>キ</sup>何—なふ19ウ8

鬼  
おに

—<sup>キ</sup>もよつたり38ウ11

寄  
よる  
—<sup>キ</sup>公2オ9 16オ4 30オ4

貴  
—<sup>キ</sup>嬉うれし —<sup>キ</sup>し22オ11 —<sup>キ</sup>しき35ウ9

歸  
—<sup>キ</sup>館44ウ

—<sup>キ</sup>御—宅2オ2

—<sup>キ</sup>儀

ギ

—<sup>キ</sup>利14オ

—<sup>キ</sup>御祝—4オ8 行—29ウ2 行—34ウ3 35オ11

8

季  
—<sup>キ</sup>節—1ウ6 36オ8 四—14ウ6 當—の20ウ

—<sup>キ</sup>机つくえ

—<sup>キ</sup>几—ギ

—<sup>キ</sup>床—18オ10

—<sup>キ</sup>流—41ウ11

キク

菊キク

||

—の紋34ウ4  
ミツチヤ  
—石43オ6

キツ

吉よし—

—野29ウ1

迄まで

—43オ5  
ツブ

詰つめ

—18ウ4

キヤク

客—キヤク

キツヅケ  
居續ケ—41オ7

脚—キヤク

飛—16オ8  
ヒキヤク

キヤ—

—はん18ウ6

キユウ

九ク

—の段43オ8

及およぶ

フヨ  
—ばぬ31オ9

白うす—

ウストリ  
—取27オ2

吸すふ

すひ—

—すひ

岌けだかい

汲くむ

急いそぐ

宮みや—

嗅—くさい

ギユウ

牛うし

ウシ  
—42ウ6

キヨ

去いなす

否いや

居—キヨ—

すわる

すわり—

スイ  
—40オ6

スイ  
—もの14オ

ラスイ  
御—15オ4

ケタカ  
—イ—39オ7

ク  
—まし8ウ8

イッ  
—げ26オ9

—本無三四33オ

ワルクサ  
惡—ひ18オ11

ツチクサ  
土—ひ29オ4

ク  
—マレ12ウ4

ク  
—ミ22ウ4

ク  
—み23オ6

イ  
—ナし43ウ4

イ  
ヲ、—3ウ2

イシキヨ  
隱—さん17ウ7

スハ  
—る14ウ10

スワ  
—り直した44オ10

すゑー<sup>ス</sup> | へ膳<sup>ゼン</sup> 34ウ8

もる | ても<sup>+</sup> 4オ4 | 升<sup>+</sup>ので 16オ8 | ーる 23オ8 | 46ウ

6 | ーる<sup>+</sup> 43オ8 | 43オ10

る | ーよる<sup>+</sup> たら 11オ8 | ーつゝけさん 12ウ2 | ーな<sup>+</sup>

さる 29オ12 | ー續<sup>キ</sup>ケ 客 41オ7 | ーおる 45ウ6 | 46オ

敷<sup>シ</sup> | 敷<sup>キ</sup> | 29ウ12

込 | ーニ 11ウ2

筥 | ーはこ | 4オ8 | 26オ8

銀子 | ーはこ | 12ウ12

裾 | ーすそ | 29オ6

ギョ

魚 | ーギョ | 金 | 25ウ

うを | ー9オ11 | 36オ10

御 | ーゴ | 免<sup>ゴ</sup> | 1オ11 | ーめん 2ウ5 | ー歸<sup>ゴ</sup>宅 2オ2 | ー座

2ウ10 | ーさんとに 3ウ2 | ー祝儀<sup>ゴ</sup> 4オ8 | ー座<sup>ゴ</sup>

たら 7オ6 | ー連<sup>ゴ</sup>中 9オ10 | ーらふじ 35ウ4 | ー

座<sup>リ</sup> | 升 37オ10 | ー鎮座<sup>チン</sup> 48オ6

母<sup>ハ</sup> | ー前<sup>ゴ</sup> 34ウ10

出<sup>ライ</sup> | 2ウ2 | ーいで 3オ10 | ー箱<sup>フ</sup> 7オ10 | ーさか

な 12ウ10 | 48オ2 | ー手<sup>フ</sup>つたひ 14ウ12 | ー吸<sup>フ</sup> 15オ4

一人<sup>フ</sup> | 15ウ2 | ーかた 21ウ7 | ーざしき 33オ | ー

供 48ウ11

キョウ

兄 | ーあに | 弟<sup>ア</sup>子 3ウ6

供 | ーク | 養<sup>ク</sup> 24オ8

御 | ーと | 48ウ11

家 | ー来 | 8ウ9

狭 | ーせ | 30オ1 | ーふ<sup>セ</sup> 24ウ12

蕎 | ーな | 18ウ8

生 | ー麥<sup>キ</sup> 4オ10 | 26ウ10 | 44オ8

橋 | ーは | 13オ12 | 30ウ12 | 34オ4

石 | ー丸<sup>キ</sup>木 24ウ5 | 高麗 | 39ウ4

鏡 | ーキ | 臺<sup>キ</sup> 21ウ3

ギヨウ

形なり

凝こる

キヨク

極

ゴク

ゴク

鬻つと

ギヨク

玉

たま

キン

巾

ふく

ナ  
—リ 18オ4

コ  
—つて 29オ12

コクイ  
—印 45ウ10

—内 34ウ7

ゴク  
—樂 28ウ7

キマ  
—つてる 43オ2

フト  
—8ウ6

タマ  
—味噌 46オ1

おや  
— 10ウ1

ウラ  
—蠟 48オ12

フキン  
—布 25オ6

フイ  
—たんじや 13オ8

フ  
—ク 8オ10

近

キン

金

キン

かな

袷

琴

禁

ギン

銀

ギン

ク

苦

フキ  
—入 27オ10  
—キ入レテ 28ウ10

—年 18ウ5

—道 22オ4

—コ 19ウ12

—魚 25ウ

—灯籠 14ウ12

—9ウ6

—1ウ6 36オ8

—せい 49オ7

—子 1ウ4 20ウ4 22オ12

—子宮 12ウ12  
—子持

—子 1ウ4 20ウ4 22オ12

—に 29オ9

グ  
具 | 3オ7

クン

薫 かをり  
| 8オ12  
| 32オ4 33オ

グン

群 むれる  
| 42ウ11

ケイ

京 キヤウ  
| 3ウ5 31ウ11  
| みやげ 5ウ5 23オ3  
| 登り 41ウ10

掛 かけ

景 | ケイ  
勝 | 11ウ4  
絶 | 13オ7

繫 つなぐ  
| がれぬ 45ウ8

繼 つぐ  
| だ 16ウ12

ゲイ

藝 ゲ |  
| なし 猿 18ウ9

ゲイ |  
| 尽し 48オ7

ケツ

穴 あな  
| 28オ8 | 29オ2

結 ケツ |

むすぶ  
| んどき 23ウ7  
| んだら 35ウ10

ゆふ  
| ふて 26オ7

ケン

見 みえる  
| へ 33ウ8 | へる 48オ8 | へる 38ウ12

みせる  
| せる 6オ6 | せぬ 9オ2 10オ10 | せよら

みる  
| さると 49オ8 | て 8ウ3 10ウ7 19ウ7 29ウ2

36ウ6 | ても 12オ2 18ウ10 31オ11 | る 25オ8

39ウ8 | 7オ2 | ると 30オ2 | れや 8ウ12

み |  
| なれぬ 18オ4 | 事 18ウ11 | 事 27ウ9

ぬいた 20オ10 | 付た 36ウ1

肩 かた  
| 30オ8 40オ2

かたー  
カクダズ  
—衣 34ウ12

研とぎー  
トキ  
—にくひ 8ウ10

軒ーケ  
一ーケ  
—31オ6

のま  
ノキ  
—11オ5

兼ーかねる  
トケカネ  
解ーる 38ウ6

絹きぬ  
キヌ  
—41オ11

遣つかふ  
フカ  
—ふ 9オ12

つかひー  
フカ  
—ひ 32オ6

やる  
キフカ  
氣ーひ 40オ5

ーられず 15ウ10  
—り 6オ10  
—りや 45ウ4  
—

る 43ウ6  
—ろ 36ウ2

榧かし  
カシ  
—8オ10

鍵ーかぎ  
ウチカキ  
打ー 8オ8

懸かける  
カ  
—け 40オ2

鍮ーやり  
ケヤリ  
毛ー 39ウ2

經かつそー  
カツカ  
—屋 23ウ12

ゲン

限ーゲン  
ウイゲン  
際ー 48ウ1

現ゲンー  
ケシ  
—チヨと 14オ

コ  
戸と  
—6ウ7 25オ2  
—33ウ10

井ーばた 39ウ10  
江ー子 43ウ9

江ー 18ウ3 47ウ8 48ウ6  
井ー 16ウ4  
井ー 43オ3

古コー  
—今 7オ2

反ー 30オ2

—イ 43ウ5

—なりて 25オ9

ふる  
フルイケ  
—池 22ウ4

呼よぶ  
ヨ  
—びさうな 7オ8  
—さうな 38オ6  
— 17ウ6

虎ーコ  
リヤウコ  
龍ー 10ウ5

とら  
トラ  
—38オ4

枯かれる  
カレ  
—て 30ウ4  
—れて 48ウ12

壺ーつば  
カネフゴ  
鉄醫ー 17ウ6

睡ー 11ウ12  
ハイフキ

鼓 つづみ  
— 20オ8

ゴ

五 —ゴ—  
四—十目程 42ウ4

呉 くれる  
見て—レ 36ウ6

—くれ  
お—ナ 26ウ3  
お—レ 29ウ2

後 —ゴ  
備—25オ10

のち  
—16ウ1 40ウ 43オ5

語 かたり  
—やかる 43オ2

護 —ゴ—  
女—嶋 43オ4

コウ

口 くち  
クチ  
—3オ12

—ぐち  
小—35ウ2

工 —グ—  
合 37オ12

公 —コウ  
貴—2オ9 16オ4 30オ4

尻 しり  
—1ウ1 42ウ4

—じり  
も— 29ウ5  
も— 45ウ11  
も— 27オ3

交 まじる  
—る 30ウ6

向 むかひ  
—ひ 12オ6

むく  
—く 6ウ6

江 え—  
—戸 18ウ3 47ウ8 48ウ6  
—戸ツ子 43ウ9

行 アン—  
—燈 11オ4  
—燈 46ウ10

—アン—  
掛—燈 46オ6

ギヤウ  
—16オ4

ギヤウ—  
—儀 34ウ3 35オ11  
—儀 29ウ2

ゆく  
—て 42ウ12

好 このむ  
—まる 12ウ10

—すき  
お—キ 27オ6

光 ひかる  
—ります 38オ1

ひかり  
—りか 19ウ10

あふ  
—ぬ 16オ6

—あひ  
つかみ—ひ 21オ4  
出—34オ4  
工—37オ12

孝 カウ  
—4オ1 38オ10 38ウ9

—さら  
殊—10ウ11

ふける  
—ケ 5ウ8

肴 さかな  
— 33オ — サカナ  
— 17オ8 43ウ10

さかな  
— 籠 8ウ12

とと  
ト、  
— 23ウ12

紅 — コウ  
寒 — 梅 9ウ7

べに  
— 39ウ2

べに  
— すみ 33ウ4

||  
— 粉 12オ8

香 カウ  
— 10オ10

抹 — マツコウ  
— 49オ10

か  
— 4オ4 46ウ2

— 花  
ハナカ  
— 23オ6

— 花  
ハナガ  
— 26ウ6

荒 あら  
— 吹風 22ウ3

候 そろ  
— 2オ2 2ウ10

桁 けた  
— フタケ  
— 36ウ4

降 ふる  
— フリ  
— ても 14ウ7

高 カウ  
— 麗橋 39ウ4

たかい  
— ひ 8オ12 20オ10

絞 しぼる  
— り 10オ12

構 — コウ  
結 — な 43ウ3

廣 ひろい  
— う 24ウ12

ひろげる  
— げ 39ウ4

ひろ  
— ー 10オ7

葉 わら  
— 39オ8

糠 めか  
— 17ウ10

ゴウ

剛 こわい  
— ひ 14ウ2

コケ

黒 くろい  
— ひ 31ウ8

くろ  
— 32ウ

くろ  
— 岩 18オ12

くろ

コツ

乞 こふ

— コ  
— イ 5ウ4

骨 ほね

ホネ 25ウ 49オ9

コン

今 ーキン

コキン 古 ー7オ2

コン ー

コンド 度 30オ10 度 35オ12

いま

イマ 6ウ8 47ウ12 49オ1

昆 コー

コブマネ 布卷 42オ8

根 ーコン

コフコン 六 ー21オ1

ね

ネ 16ウ12

ね ー

ネシメ 38ウ7

ね ー

シヤウネ 性 ー場 3オ2

ね ー

シヤウネ 性 ー 21ウ9

ゴン

言 いふ

イユ ーや 20ウ12

いひ ー

イ ーひくさる 46オ10

左 さー

サヨウ 様 ーく 8ウ1

ひだり ー

ヒダ ーり 箸 23オ4

ザ

座 ザ

ザ 4オ11 13オ10

ザ ー

ザンネ 敷 24ウ10 敷 40オ2

ーザ

御 ー2ウ10 當 ー2ウ7 23オ2 御 ーッ たら 7オ

6 ー 13オ10 御 ーリ 升 37オ10 御 鎮 ー 48オ6

サイ

西 スイ ー

スイクハ 瓜 23オ8

にし

ニシ 5ウ11 9オ8

済 すむ

スメ ーや 4オ8

細 ほそい

ホツ ーひ 26オ12

ほそ ー

ホツク ーと 15ウ11

最 ーサイ ー

チ 手入レ ー中 36オ9

も

モ ーチツト 37ウ1

もう

モ ーふ 36ウ10

催 もよほす  
——し かけ 27 オ 1

衰 みのー  
——む し 21 オ 6

際 サイー  
——限 48 ウ 1

まわ  
—— 20 ウ 10

ザイ

在 ザイー  
—— 処 16 ウ 4

サク

酢 す  
—— ス 42 オ 2

ザツ

雑 ザフー  
—— 糞 26 オ 10

サン

三 サー  
—— 味 34 ウ 1

宮本無——四 33 オ

サンー  
—— 里 2 オ 1 18 オ 1 35 ウ 11  
—— の糸 9 オ 12  
—— 人 17

オ 9

—— 十何ば 48 ウ 6

—— つ 10 ウ 10

山 やま

—— やまー  
—— さくら 2 ウ 4

—— 沢 44 ウ

門 クワンのき

—— クワノノ キ 26 ウ 8  
—— ミ 4 ウ

産 うむ

—— 土 35 オ 8 38 オ 10  
—— らせむ 44 ウ  
—— ると 45 オ

傘 かさ

散 ちる

ちりー

霰 あられ  
—— ら 31 ウ 8

ザン

残 のこる  
—— らず 27 ウ 8  
—— る 7 ウ 12

暫 しばらく  
—— しく 17 オ 7

シ

士—ジ

子—シ

—ジ

—コ

—コ

—コ

—コ

—コ

—コ

—コ

—コ

仕—する

—ト

—ト

—ト

—ト

四—シ

富—6ウ2 衛—16オ1

兄<sup>アニ</sup>弟<sup>ニ</sup>子<sup>シ</sup>3ウ6 拍<sup>ヒヤウシ</sup>—17ウ11 一文<sup>クワン</sup>葉<sup>ワ</sup>—34オ2

障<sup>シヨウジ</sup>—9ウ8 障<sup>シヤウジ</sup>—23ウ4 32オ12 障<sup>シヨウジ</sup>—49オ8

—9ウ4

—もり8オ4

江戸<sup>ツ</sup>—43ウ9 竹<sup>タケ</sup>の—49ウ6

迷<sup>マイコ</sup>—29ウ4

銀<sup>カネ</sup>—1ウ4 20ウ4 22オ12 銀<sup>カネ</sup>—<sup>ハコ</sup>筥<sup>ハコ</sup>—12ウ12 銀<sup>カネ</sup>—<sup>テ</sup>持<sup>テ</sup>

28ウ8

—<sup>トマ</sup>らぬ29ウ9

—<sup>トメ</sup>ても29ウ9 一<sup>ト</sup>め41オ8

—<sup>シ</sup>られた40オ4 一<sup>シ</sup>た3オ4 42オ11 一<sup>シ</sup>ても19ウ10

46ウ12 一<sup>シ</sup>てる16オ4 一<sup>シ</sup>ます46ウ10 一<sup>シ</sup>トコ25

ウ—<sup>シ</sup>イヤンカ48オ4

—<sup>シ</sup>舞29オ11 一<sup>シ</sup>まふ36オ2 一<sup>シ</sup>舞<sup>モ</sup>て40オ1 一<sup>シ</sup>

やふ14ウ8

—<sup>シ</sup>季<sup>キ</sup>14ウ6 一<sup>シ</sup>月29ウ1 一<sup>シ</sup>本<sup>ホン</sup>38ウ12 一<sup>シ</sup>五十<sup>イチ</sup>目

程42ウ4

宮本無<sup>ニ</sup>—33オ

—36オ3 一<sup>ヤ</sup>47ウ11

—<sup>ヤクナ</sup>立<sup>タ</sup>6オ8 18ウ12

—5ウ7 12オ4 18ウ10 19ウ8 23ウ4 25オ2 29オ8

29ウ2 33ウ10 34ウ2 42オ2 43ウ2 一<sup>コノ</sup>14オ 16ウ8 28

ウ8

—<sup>コ、</sup>處<sup>コ</sup>40ウ—<sup>コナ</sup>方<sup>コナ</sup>46オ12—<sup>コナ</sup>方<sup>コナ</sup>等<sup>コナ</sup>3ウ4 29ウ8

路<sup>ロジ</sup>—26ウ9 路<sup>ロジ</sup>—41オ9 44オ7

取<sup>トリキ</sup>—<sup>キ</sup>さま42オ10

—7オ10 9オ12 47オ12

—<sup>イトク</sup>屑<sup>ク</sup>16オ2

—<sup>シライ</sup>白<sup>ハク</sup>22オ2

—<sup>シマツ</sup>末<sup>マツ</sup>する6オ12 一<sup>シマツ</sup>末<sup>マツ</sup>人<sup>ジン</sup>11オ1

—<sup>アネ</sup>さん24ウ10

—<sup>エテ</sup>枝<sup>エ</sup>えた 21オ10 一<sup>エテ</sup>20オ12

—<sup>カネ</sup>柿<sup>カキ</sup>かき 48オ8

—<sup>シアン</sup>案<sup>アン</sup>18ウ7

—シ

矢—ヤ

—ヤ

此—この

—この

—この

—この

次—ジ

—つき

糸—いと

いと

いと

始—シ

姉—あね

枝—えた

柿—かき

思—シ

おもふ  
 指 ゆび  
 姿 すがた  
 紙 シ  
 かみ  
 疵 きず  
 紫 シ  
 眼 のぞく  
 齒 は  
 斯 かう  
 詩 シ  
 耳 みみ

フモ  
 ーやせぬ 10ウ8  
 ヌビ  
 ー10ウ2  
 スガク  
 ー4ウ  
 ソウシ  
 双 ー38オ2  
 カミ  
 ー11オ10  
 ー23ウ4  
 赤 ー39ウ6  
 キツ  
 ー15ウ12  
 シ  
 ー蕪 48ウ5  
 ムラサキ  
 ー6オ10  
 ノツ  
 そつとーき3オ1  
 ハ  
 ー23ウ10  
 41オ11  
 コ  
 ーふ 35ウ10  
 37オ4  
 カ  
 ーふ 45ウ4  
 シ  
 セントセイ  
 ー仙堂製 5オ  
 シ  
 ー6オ2  
 ー16オ10  
 カクヂ  
 六 ー15ウ9  
 角 ー28オ12  
 ミ  
 ー7ウ8  
 8ウ2  
 21オ6

自 ジー  
 似 じる  
 事 ジ  
 こと  
 兒 ー  
 持 もたす  
 もつ  
 もちー  
 とき  
 ーとき  
 ー  
 銀子 ー28ウ8  
 ー46ウ4  
 ーめしー49ウ2  
 何 ー42オ2  
 ーて 24ウ2

シヒツ  
 ー筆 31オ2  
 シ  
 不 ー由らし 24ウ6  
 ーたりやく 36オ5  
 ハツ  
 返 ー29ウ7  
 コト  
 ー2オ4  
 ー1オ12  
 2オ12  
 ー5ウ7  
 16ウ6  
 16ウ8  
 17ウ10  
 19ウ4  
 30オ8  
 36オ6  
 ド  
 丁 ー16オ10  
 モ  
 ーたし 36オ10  
 モチ  
 ー22オ10  
 モツ  
 ー3ウ6  
 ー30オ8  
 ーつて 34ウ1  
 ーつても 46オ4  
 ーて 2ウ2  
 ーチ なされ 48ウ7  
 カネ  
 銀子 ー28ウ8  
 トネ  
 ー46ウ4  
 ドネ  
 ーめしー49ウ2  
 イッ  
 何 ー42オ2  
 アイ  
 ーて 24ウ2

シチ

七 シチ

— 43オ2

シチー

— てん八とふ37ウ3

ななー

ナ、  
— ふしぎ42ウ9

シツ

室 むろ

△ロ  
— 10ウ3

漆 うるし

ワレン  
— 10オ10

膝 ひざ

ヒザ  
— 2オ3

ひざー

ヒザガシツ  
— 頭18ウ3

ジツ

日 ジツ

ジツケツ  
— 月19オ

— ニチ

— 22ウ2

ひ

— 5ウ11  
— 9オ8  
— 10ウ4  
— 22オ2

ひー

— の出く 21オ11  
— の出 32オ10  
— の出 46ウ5

— ひ

タ— 38ウ10

||

— 和 12オ7  
— 20ウ5  
— 晦 33ウ3

実 ジツ

— 23ウ2

シヤ

車 — シヤ

飛<sup>ヒ</sup>シヤ — 17ウ8

くるま

— 41オ12

社 こも

口<sup>コ</sup>で<sup>コ</sup> — 3オ12

者 — シヤ

猪<sup>イ</sup>武<sup>ン</sup> — 32オ5

— ジャー

母<sup>ハ</sup>人<sup>シヤ</sup> — 6オ4  
母<sup>ハ</sup>人<sup>シヤ</sup>さん<sup>ヒト</sup> — 7オ6

砂 すな

母<sup>シヤ</sup> — 6オ4

捨 すてる

— 10ウ6  
— に 24オ10  
— する 17オ12

這 はひー

— 出 32オ6

はひりー

— ひりくさる 29オ8

||

— 入<sup>ハ</sup>てる 48ウ4

奢 おごり

— り 46オ11

賁 — に

雜<sup>ゾ</sup> — 26オ10

ジャ

邪 ジャー

— 6ウ12

蛇 ジャー

— の道<sup>ミチ</sup> — 1ウ10

シヤク

借一かり

眼メカ一り9ウ10 おカリ一申したい24オ12

積シヤク

シヤク  
一に35ウ9

ジャク

若わかい

ワカ  
一う22ウ2

雀すずめ

スズメ  
一21ウ10

シユ

手一スー

上ナ一らしい26ウ4

て

一4オ6 8オ8 27オ4 48ウ12 49オ6 | 8ウ6 9オ

て

本ナホソ一3ウ6 | 遊びテアソ17ウ12 | つがひ23ウ5 | 一テ

て

入イレ最中サイチウ | 一前チマヘ44オ10

て

御ヲチ一つたひ14ウ12  
勝カツチ一に8オ4 勝カツチ一27オ12 切キッ一31ウ12 初ハテ一37

て

派ハデ一な11ウ10 派ハデ一ニ42オ6 49ウ4 端ハテ一ナ26ウ2

朱一シユ

式一23ウ2 47ウ12

炷たく

一タイても10オ10

取とる

一り20ウ6 21ウ1 | 一トる8オ2

とり

一かこみ15オ10 | 一トりこむ21ウ11 | 一トリ込41ウ7

一りにくい31オ12 | 一トリよらん34オ2 | 一トリ次さま

42オ10

とり

白ウストリ一27オ2 受一48ウ11

とる

受ウケト一らぬ20ウ12

とらす

聞ト一らし28オ12

首シユ

一尾シユビよふ23ウ1

くび

一クレ尾クレよふ23ウ1

酒さけ

一サケ27オ6

さか

一や18オ4 | 一屋21オ4

殊こと

一更コトサウ10ウ11

諷ス

一訪スワ33ウ8

ジユ

受うけ

一取ウケトらぬ20ウ12 | 一取48ウ11

咒 まじなふ  
— 2ウ6

シユウ

宗 — シユウ

秋 あき

袖 そで

— そで

就 — ジウ

摺 すり

皺 しわ

蹴 ける

ジユウ

十 ジフー

八 42オ5

— ジフー

汁 じる

叶 かなふ

法華 — 12オ1

— 7ウ12 10ウ11

— 17ウ2

振 — 6ウ2

成 — 29オ3

— ぬか 49ウ8

— だらけ 33オ

— ける 42ウ6

— 分 3オ11 12ウ3 20オ7 24オ11

— 萬堂 10ウ12

四五 — 目程 42ウ4 三 — 何ぼ 48ウ6

— 18オ2 24オ2 43オ12

— ひ 6ウ9 — 24ウ11

住 すむ  
— あとは 10ウ8

拾 ひろふ  
— テ 25オ8

重 デウ  
— 39オ3

— おも

波 しぶい  
— ひ 16オ3

シユク

祝 — シウ  
— 御儀 4オ8

宿 やど  
— 屋めら 2オ8

シユツ

出 シユツ  
— 二世 8オ6

— いて 3オ5

— 御 2ウ2

— だす  
— 9ウ6 10ウ3 37オ9 — 38ウ7 — して 2

— だす  
— 9ウ6 10ウ3 37オ9 — して 2

— だす  
— 9ウ6 10ウ3 37オ9 — して 2

— だす  
— 9ウ6 10ウ3 37オ9 — して 2

―だし  
カネヅ  
書―し 15ウ10

でる  
―ぬ 24オ2  
―ん 47オ4  
―た 24ウ2  
―て 2オ10

―なよ 36ウ10  
―る 23オ10  
33ウ12  
42ウ10

で  
―來 23オ2  
―來 20ウ4  
25オ10  
―來も

の 35ウ2  
―入 5ウ10  
―合 34オ4  
―刃 46オ12

―で  
目―度 35オ7  
目―度 39オ3

―で  
日 21オ11  
日 32オ10  
日 46ウ5

這 32オ6  
ハヒテ

シユン  
―7ウ9  
22ウ1  
―ハル  
23オ1

春 是る

シヨ  
在 16ウ4  
―23オ12

処  
何 7ウ11

||  
―手 37オ8  
―手 48オ10

初  
―陣 24ウ9

うひ

||

所  
―シヨ

―シヨ  
名 25ウ  
關 31ウ12

―どこ  
入 18ウ6  
―25オ8  
29ウ6  
―30オ6  
―45ウ12

||  
何 18ウ5  
41ウ6

書  
清 38オ2

かく  
―しんか 46オ6  
―たら 36ウ12  
―て 45ウ4

イ  
イ 42オ10

かき  
―出し 15ウ10

處  
名 28オ4

―どこ  
―1ウ8  
20ウ2  
―17ウ8

||  
臺 27オ12

曙  
此 40ウ  
何 48オ12  
49ウ4

||  
―アケボ  
11ウ1

シヨ  
漆 10オ11  
龍虎 10ウ5

如  
―矢 10ウ5

36オ3  
47ウ11

龍虎の―し 10ウ5

矢の―し

助 ジヨウ 炭 1ウ12 35ウ8

除 ヂ 掃 サウジ して 29ウ11

よける ヨケ して 3ウ3 22ウ4

シヨウ

小 コ

コ コ 判 8オ8 30ウ2 | 判 45ウ10 | 賣 31オ2

コ コ 口 35ウ2

ちいさい

サイ 26オ8

升 シヨウ

居 キマス 16オ8 | 御座 37オ10 | お 48オ2

聞 キ イテ 48ウ8

床 シヤウ

凡 18オ10

ゆか

ユカ 34オ12

招 マネ まねく

マネ | かる 5ウ12

松 マツ まつ

マツ | 15オ12

忝 マツ まつ

の 1オ4 都 1オ8 さん | 吹音 20ウ7

屑 クズ くづ

クズ | 15オ12 | 20ウ9

糸 イトクワ 16オ2

宵 ヨイ よひ | 10オ12 | の 4オ7 うち

消 ケ けす | 23ウ10

笑 ワラ わらふ | ひ 17ウ5 | 27オ5

唱 トナ となへる | へ 15ウ9

掌 テノヒラ てのひら | 42オ3

商 シヤウ シヤウ | 賣 9ウ12

勝 シヨウ シヨウ | 景 11ウ4

かつ | かつ | てる 18オ12

かっ | 手 8オ4 | 手 27オ12

猩 シヤウ シヤウ

33オ

隼 コ こげる

け 27ウ6

粧 ヨソホビ よそほひ

ひ 15オ9

照 テ てる

て 32オ10

蛸 シヤウ だこ

引 30ウ3 はり

障 シヤウ シヤウ

子 23ウ4 | 子 32オ12 | 子 49ウ8

鞘 シヨ シヨ

子 9ウ8

靴 サヤ さや

2オ11

醬 シヤウ シヤウ

油 3ウ2

鉄カネ壺フツ17ウ6

鐘 かね 6ウ6

釣ツカネ 16ウ3

ジヨウ

上ウシヤウ 身シンヤウ 15ウ12

ジャウー 12オ7 20ウ5 手テらしい 26ウ4

うへ エ 18ウ4 43オ12

い イやがアに 24ウ7

あがる 掃ハキアガアる 24オ10 焚ヤキアる 42オ8

あげる ゲアヨアと 38オ8 達アアアる 48ウ9

のぼる はりアりアげる 7オ4

丈チヤウ 大オ夫 13オ11

だけ わしダケダ 18オ2 出たダけ 24ウ2 出たダけ 24

杖ツエ ウウ居ケなナさサるル 29オ12 笹サケサ 38ウ12

乗ノリのノるル 15オ6 19オ 20オ12 37オ12

常ツネ つね 9オ2

條ジョウ デデウー 六ロウへヘんン 2オ8 中チュウ 17オ12

場ジョウ ば 情根ジョウネ 3オ2 渡ワタしシ 6オ3 燭カク 45ウ6 相ジョウ 1

讓ジョウ ゆづる 49オ10

疊ジョウ たたみ 29オ6

シヨク

拭シ のシごク 1ひ8ウ6

植シ うシえる 田シ 23オ12 てもウもウ 15オ12 燭ウにウ 23オ10

うわる 1ハリ10ウ4

シン

心シン シン 腹シン 30オ4

一フ不フ乱ラン 9オ3

用シン 32オ1

こころ 9オ5

こゝろ  
—地<sup>コノチ</sup> 23オ1

申  
まうす  
—したい 24オ12  
—せいでか 48ウ8

まうし  
—にくひ 31オ8

伸  
—のび  
脊<sup>セナヒ</sup> —2オ6

身  
シン  
—上<sup>ウヘ</sup> 15ウ12

み  
— 22オ10 41ウ6

み  
—請<sup>ミコケ</sup>して 43ウ4  
—どもが 48ウ10

辛  
シン  
—抱<sup>カケ</sup>して 11ウ11

からい  
—ひ 4オ10 26ウ10  
—ふ<sup>カウ</sup> 38ウ8

津  
—シン  
入<sup>イ</sup> —12ウ11

草<sup>クサ</sup> —41ウ12

神  
かみ  
—さん 36ウ11

唇<sup>クチビラ</sup> —33ウ4

振  
ふり  
—り 5ウ2 18ウ10  
—袖<sup>フリ</sup> 6ウ2

針  
はり  
— 32オ2 47オ12

木<sup>キ</sup> —41オ12

眞  
シン  
—直<sup>マツ</sup>に 40オ3

進  
—シン  
精<sup>セイ</sup> —2ウ6

深  
—ふかい  
草<sup>クサ</sup> —ふ 6ウ10

—ぶかい  
しうしん<sup>フカ</sup> —ひ 19ウ5

新  
あたらしい  
—らしい 36オ1

—さら  
—3オ7

販  
にぎはしい  
—わしひ 8ウ4

にぎはしい  
—わい<sup>ニギ</sup>く 4オ3

ジン

人<sup>ヒト</sup> —シン  
徳<sup>トク</sup> —27オ7

—ニン  
—氣<sup>キ</sup> 15オ3  
—數<sup>ニツブユ</sup> 40ウ

—ニン  
始末<sup>シマツ</sup> —11オ1  
三<sup>ミ</sup> —17オ9  
他<sup>タ</sup> —46ウ4

ひと  
—8オ6  
—46ウ11

—ひと  
母者<sup>ハジヤ</sup> —6オ4  
母者<sup>ハジヤ</sup> —さん 7オ6

—  
御<sup>ミコト</sup> —15ウ2  
二<sup>ニ</sup> —43オ8

陣<sup>アレイ</sup> —デン  
初<sup>ハジメ</sup> —24ウ9

塵<sup>チリ</sup> ちり  
—リ 24オ10

盡<sup>ツクス</sup> つくす  
—し 4オ1

一づくし 藝ゲツクし 48オ7  
儘 まま 一よ 29ウ10

スイ

水みづ

一 8ウ8 9オ11 11オ2 21オ2 21オ12 22オ8 22ウ4

吹 ふく

フイ 一たら 23ウ8 一て 43オ10 一ッ 9ウ4

松 一音 20ウ7

荒 一風 22ウ3

垂 たれる

一レ 21オ10

前 一レ 8オ10

酔 委ふ

一て 42オ6

唾 一

一壺 11ウ12

誰 たれ

一 13オ8

ズイ

随 一ズイ

キズイ 一氣 9オ2

スウ

數 一ジユ

ニシユ 一人 40ウ

雛 ひな

ヒナ 一 38ウ2

ひな

ヒナ 一さん 41オ10 46オ3

スン

寸 一スン

一 48ウ3

ゼ

是 これ

コレ 一 16ウ4 25オ5 43オ4 一 21ウ9 39ウ7

セイ

井 一

キド 一戸 16ウ4 一戸 43オ3 一戸 ばた 39ウ10

生 一シャウ

リセウ 一利 46ウ7

ワウセウ 一往 14オ

ロセイ 一盧 1ウ11

一 27ウ10

一 並べ 7ウ10

ウマ 一る 6ウ4

いける

いけ

うまる

108

きー  
 蕎麥キッソバ 4オ10 26ウ10 44オ8  
 弥ヤシ 18オ9 弥 22ウ5  
 正 シャウー  
 面シヤウシ 4オ6  
 世 セー  
 間セケン 18ウ8 話セワし 19ウ11  
 出シユツセ 8オ6  
 よー  
 43オ5  
 中 39ウ1  
 成 ジョー  
 浮シヨジウ 28ウ11 45ウ  
 就シヨジウ 29オ3  
 なる  
 12  
 ましたナ 29ウ4 ーナツて 19オ ーナる 2ウ12 ーナる 22オ  
 百 49ウ1  
 性 シャウ  
 13ウ  
 姓 シャウ  
 根シヤウネ 21ウ9 根場シヤウネバ 3オ2  
 無ム 33ウ5 毒ドクシヤウ 42ウ8  
 青 あを  
 20ウ9  
 清 セー  
 書セイソ 38オ2

きよし  
 情 ーセイ  
 風フゼイ 30ウ8  
 盛 さかり  
 8オ2 ーナカりく 28ウ9  
 晴 はれる  
 へる 4ウ ーヘて 17オ10  
 はれー  
 間ハレマ 11ウ2  
 勢 いきはひ  
 4オ6 ーイひ 16オ11 35ウ5  
 進セウジン 2ウ6  
 精 シャウー  
 製 ーセイ  
 詩仙堂 ー5オ  
 閑カンセイ な 10ウ12  
 静 ーセイ  
 しづか  
 請 ーうけ  
 身ミウケ ー43ウ4  
 21オ6 30ウ4 38ウ4  
 聲 こゑ  
 セキ  
 夕 ゆふー  
 日 38ウ10  
 石 いし  
 18ウ10 29オ6  
 橋 22オ3  
 いしー

菊 <sup>キツチヤ</sup> 43オ6

赤 <sup>アカ</sup> あかい 40オ2

紙 <sup>カミ</sup> 39ウ6

なつた <sup>ナツタ</sup> 41ウ8

昔 <sup>ムカシ</sup> むかし 33オ

脊 <sup>セ</sup> せ 2オ6 2オ6 のび <sup>ノビ</sup> 32オ7

借 <sup>カ</sup> をしむ 1オ1

跡 <sup>アト</sup> あと 1オ8 31ウ12 12オ4 12ウ2

から <sup>カラ</sup> 16オ7 28オ4

挿立 <sup>カキクテアト</sup> 16ウ10

積 <sup>ツミ</sup> つみ 27ウ3

つもる <sup>フモ</sup> 20ウ6 9オ6

セツ

切 <sup>サイセツ</sup> 1セツ 42ウ1

きる <sup>キ</sup> 14オ 39オ8 10ウ10 27ウ

848オ9 12ウ12

1きる

散り <sup>チリ</sup> 1つた 46ウ2

まり <sup>キ</sup> 1り立 <sup>タテ</sup> 7ウ10

まつ <sup>キツ</sup> 31ウ12

される <sup>キレ</sup> 46オ12

折 <sup>マ</sup> をる 10ウ2 9ウ6

をり <sup>マ</sup> 23オ11 30オ3

接 <sup>ツギ</sup> つぎ 46ウ12

雪 <sup>セツ</sup> セツ 1ウ7

節 <sup>セツ</sup> セツ 17ウ2 21ウ6 38オ10 42ウ10

季 <sup>セツ</sup> 1ウ6 36オ8

絶 <sup>ゼツ</sup> ゼツ 1景 <sup>ゼンケイ</sup> 13オ7

千 <sup>チ</sup> ち 1草 <sup>チグサ</sup> 30ウ7 42ウ11

川 <sup>カハ</sup> かは 1竹 <sup>チク</sup> 47オ11

がは 滑り—8ウ8

仙—セン— 詩—堂製<sup>シセントウセイ</sup>5オ

先 さき —8オ11 27ウ8 |—キ8オ11 |—28オ3

まず —39オ8

洗 セン— |—濯<sup>センダク</sup>40オ1 |—ろ<sup>アラ</sup>た<sup>アラ</sup>11ウ12 |—ふ<sup>アラ</sup>24ウ4

あらふ |—ろ<sup>アラ</sup>た<sup>アラ</sup>11ウ12 |—ふ<sup>アラ</sup>24ウ4

染 —そめる |—ても<sup>ソメ</sup>26ウ2 |—め<sup>ソ</sup>33ウ4 |—る<sup>ソメ</sup>22オ2

扇 —セン |—白<sup>ハクセン</sup>—5ウ4

—あふぎ |—しろ—5オ

船 ふね |—5ウ10 |—<sup>フネ</sup>21ウ2

揃 そろふ |—て<sup>ソロ</sup>20オ8 |—ふ<sup>ソロ</sup>39ウ2

奠 センず |—じて<sup>セン</sup>15ウ8

詮 —セン |—所<sup>シヨセン</sup>—42ウ2

撰 えらむ |—み<sup>エラ</sup>22オ2

えり— |—り<sup>エ</sup>出<sup>ゾ</sup>され<sup>ゾ</sup>4オ2

錢 —セン— |—湯<sup>ユセン</sup>—とり<sup>ユセン</sup>8オ2

ぜに |—30オ6 |—31オ2

種 セン |—48ウ10

ゼン

前—ゼ |—母<sup>ハゴ</sup>御<sup>ゴ</sup>—34ウ10

以<sup>イゼン</sup>—46ウ1

まへ |—エ35ウ6

まへ— |—垂<sup>マヘダ</sup>レ8オ10

名<sup>ナマヘ</sup>—11ウ6 |—手<sup>テマヘ</sup>—44オ10

善ゼン |—は<sup>ナマヘ</sup>急<sup>レ</sup>げ<sup>テマヘ</sup>26オ9

膳—ゼン |—居<sup>スゼン</sup>へ—34ウ8 |—二—37オ8

ソ

姐<sup>マナイ</sup>まな |—板<sup>イタ</sup>29オ10

梳<sup>ス</sup>すく |—い<sup>ス</sup>て20ウ6

菘<sup>シヨ</sup>—ソ |—紫<sup>シヨ</sup>—49ウ5

ソウ

爪<sup>ツメ</sup>つめ |—15オ1 |—39オ10・10

双<sup>ソウ</sup>サウ |—紙<sup>シ</sup>38オ2

早<sup>ハヤ</sup>はやい |—ふ<sup>ハヤ</sup>38オ4 |—やう<sup>ハヤ</sup>42オ8

はや  
ハヤ  
| 3オ8

お—おますが11ウ10  
ハヨ

走 はしる  
ハシ  
| らずと15オ8 | ーる37オ4  
ハシ

争 あらそひ  
アラソ  
| ひ8オ7 34オ7

咲 さく  
サク  
| し22ウ2 | ー21ウ4  
サク

相 サウ  
サイ  
| つはた14ウ6 | ーかけ39ウ8  
サク

相 サウ  
サイ  
| 違23オ7 | ー場49オ10  
サク

入—14ウ1 入—23オ9  
イリヒ  
ヲ

送 おくる  
ソウ  
| らにや9ウ2

草 くさ  
クサ  
| 34ウ2

津—41ウ12 | 深—6ウ10  
クサフ  
クサフ

浮—で26ウ1 千—むすび30ウ7  
チクサ  
クサフ

臥ながら12ウ8 | 臥れる22オ10  
クサフ

蚤 のみ  
イノミ  
| 17ウ4

掃 サウ  
サウ  
| 除して29ウ11

はく  
ハカ  
| れ9オ10 | ーかぬ28ウ10 | ー12ウ2 | ーき29オ6  
ハカ

はき  
ハキ  
| ーこ23オ2

はき  
ハキ  
| ー上る24オ10

窓 まど  
マド  
| 25ウ

掻 かき  
カキ  
| 立跡16ウ10  
カキ

噌 ーソ  
ソウ  
| 玉味—46オ1  
タマミ

箒 はうき  
ハウキ  
| 23ウ6 | ー25オ4  
ハウキ

箱 はこ  
ハコ  
| 1オ10

箱 はこ  
ハコ  
| 2ウ2 32オ2

御—7オ10  
ヲハコ

鎗 やり  
ヤリ  
| 1オ7

憎—にくい  
ニゲニラ  
| 逃—ひ27オ8

ソク

足 あし  
アシ  
| 6オ6 34オ12 38オ4

音—37オ6  
オン

あし  
アシ  
| 36オ2 | 24オ5  
アシ

あし  
アシ  
| さし—25オ7

たりる  
タリル  
| ーりませぬ19ウ10

たる

—らなんだ<sup>5ウ6</sup>

息—いき

鼻—<sup>ハナイキ</sup>39ウ5

ソク

續—つづけ—居—<sup>キツ</sup>客<sup>41オ7</sup>

ソン

損—<sup>ソン</sup>21ウ12

(つづく)